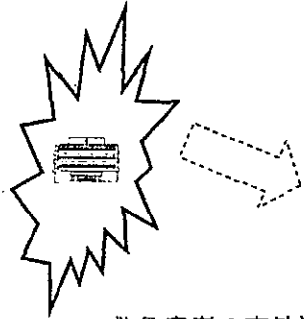


愛媛県地域医療再生計画（八幡浜・大洲圏域：救急医療体制の再構築と医師確保に重点）

現 状

唯一の基幹病院の  
医療機能の低下

救急輪番体制  
（初期・二次混在）  
二次救急医療の逼迫化



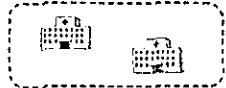
救急患者の市外流出

八幡浜市

大洲市

救急輪番体制  
（初期・二次混在）

地域の中核  
病院の廃止



西予市

内子町

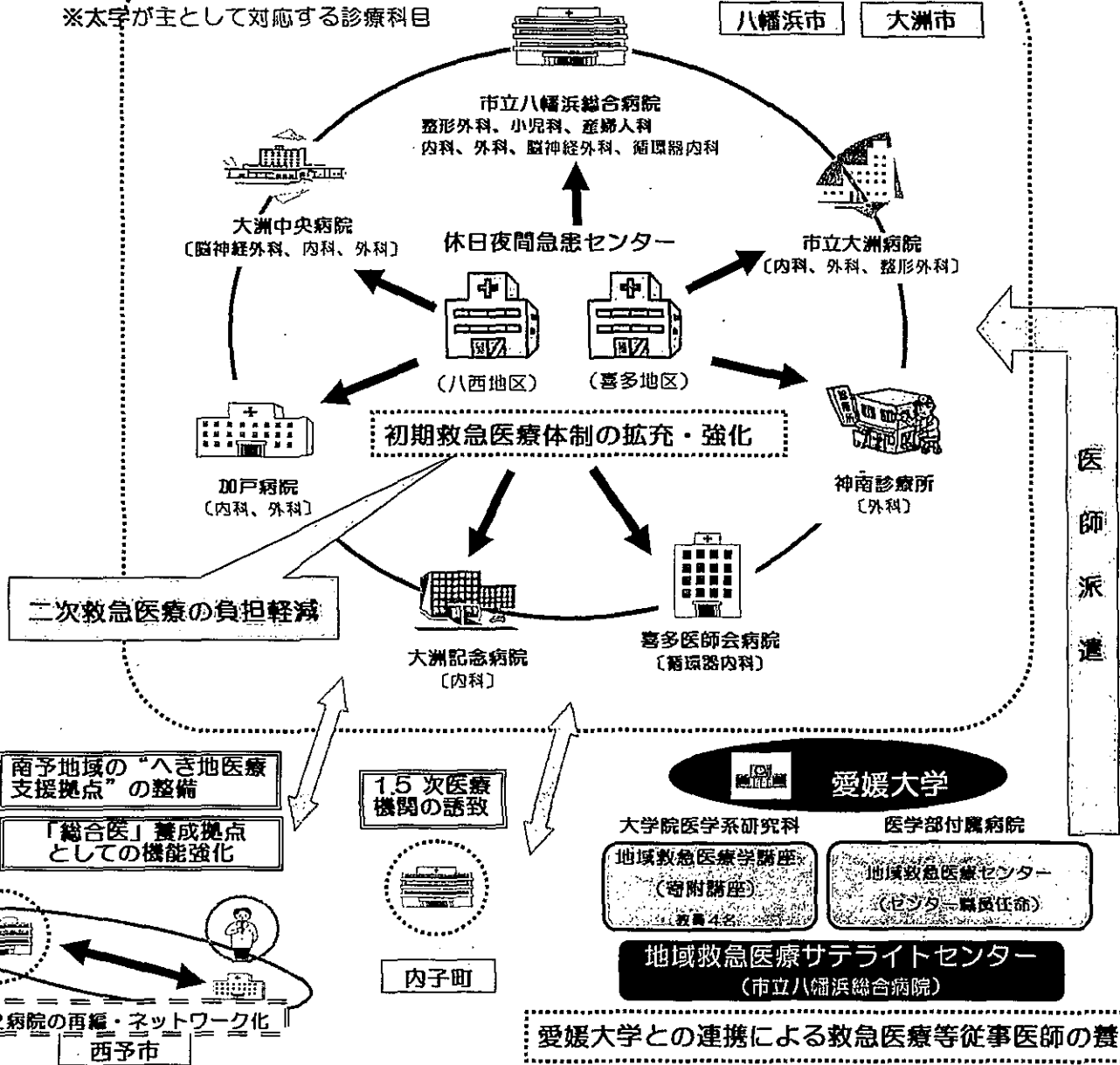
課 題

- 二次救急医療機関の過重負担
- 深刻化する医師不足

実 施 後

輪番体制の抜本的な再編による新たな広域二次救急医療体制の構築

※太字が主として対応する診療科目



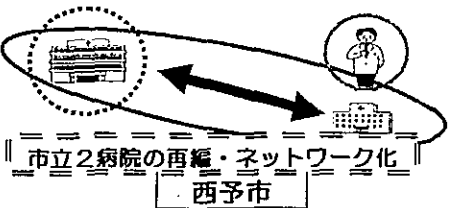
二次救急医療の負担軽減

南予地域の“へき地医療支援拠点”の整備

「総合医」養成拠点としての機能強化

1.5次医療機関の誘致

内子町

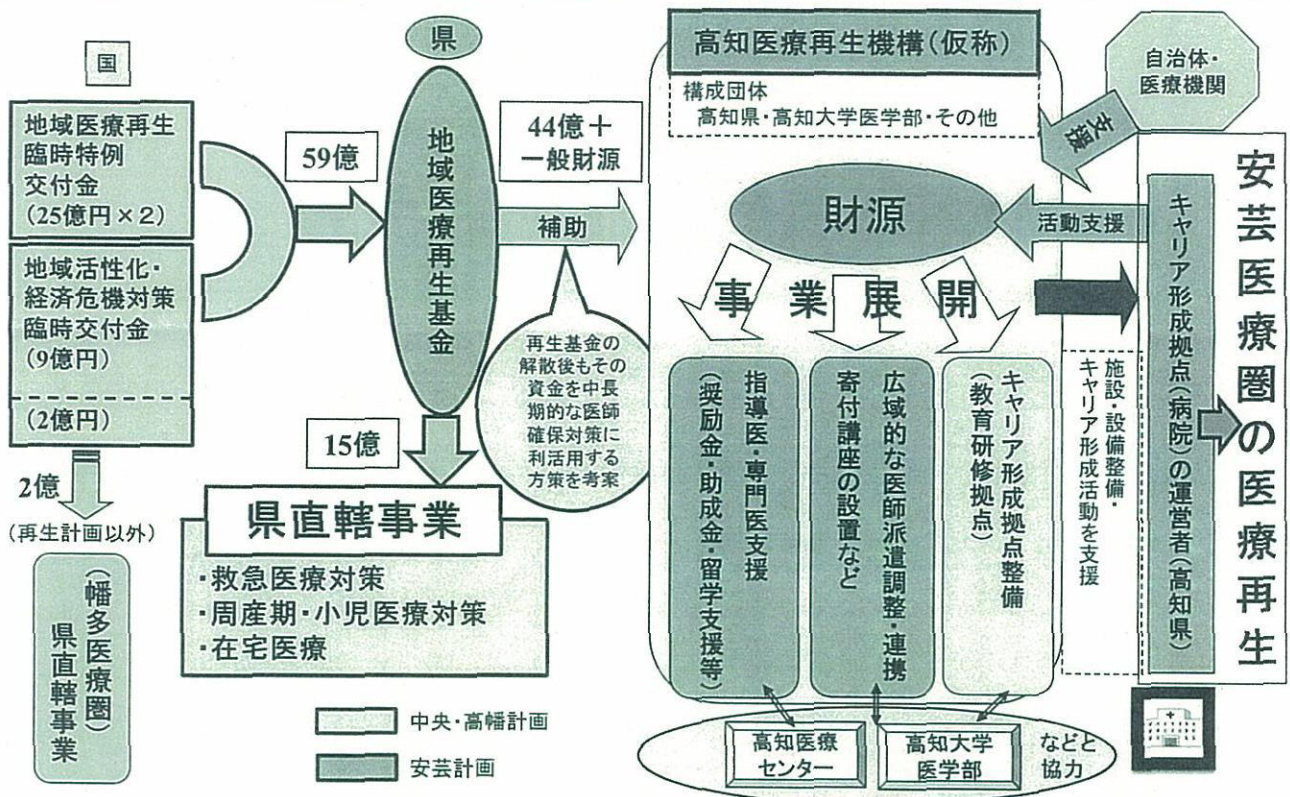


市立2病院の再編・ネットワーク化  
西予市

愛媛大学との連携による救急医療等従事医師の養成

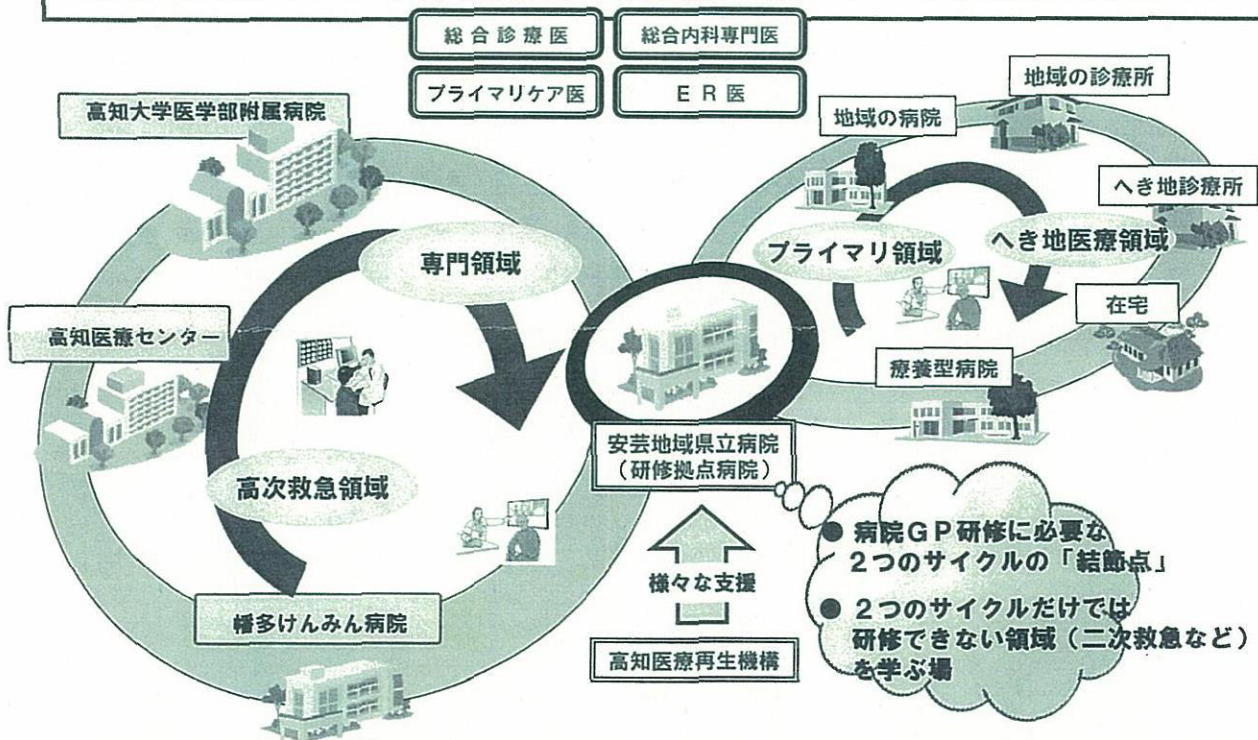
# 高知県地域医療再生計画（2計画と医師確保事業）

## －「高知医療再生機構」(仮称)の創設と活動－



## ■ 高知県の「病院GP養成」の仕組み（若手医師が集まる仕組み）

研修医が安心できる（様々な分野への展開が可能な）「高知県独自の仕組み」



# 高知県地域医療再生計画（中央・高幡医療圏）

県民の地域医療に対する理解・協力

再生計画で重点的に取り組む事業

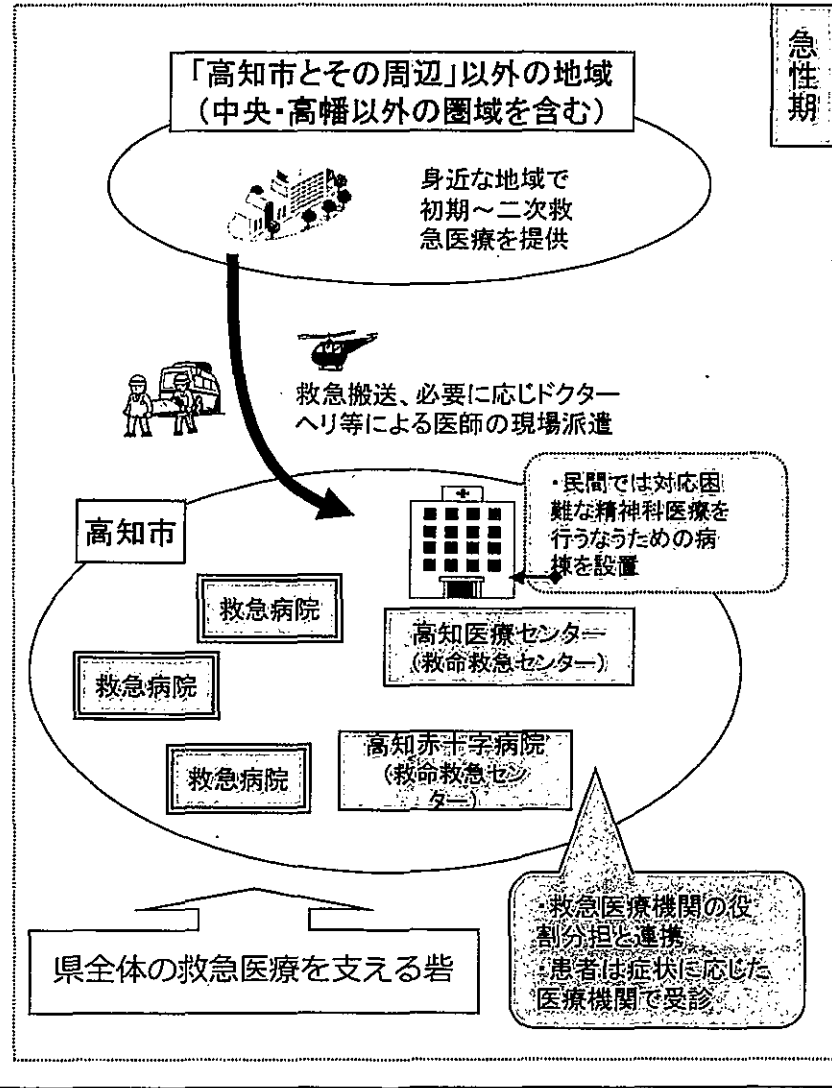
- 救急医療の確保
- 小児・周産期医療の確保
- 在宅医療の推進
- 医療連携体制の強化

現状

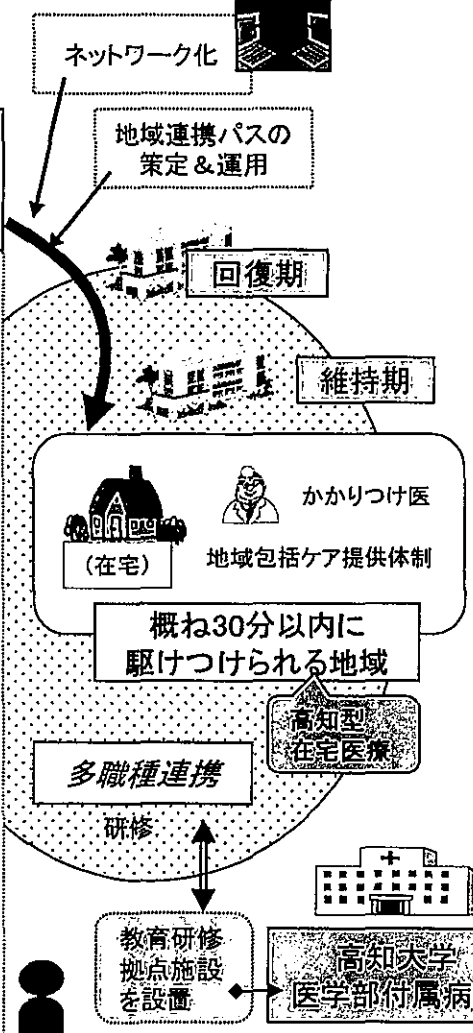
- 医師の偏在（地域、診療科、年代）
- 医療資源が県中央部への偏在
- 郡部の基幹的医療機関の医師不足が進行し、地域で、救急医療をはじめとした医療が完結できない
- 高知市及びその周辺の一部の医療機関に患者が集中
- 救急患者の管外搬送、長時間搬送が増加
- 軽症患者の救急医療の利用が多い
- このまま医師が確保できなければ、小児科や周産期の医療提供体制は崩壊
- 施設での医療や介護サービスに頼ってきており、増大する在宅医療のニーズに対応するための基盤が不十分
- 中山間地域では過疎化、高齢化が進んでおり、医療ニーズの高い高齢者を地域で支える体制は不十分

実施後

小児・周産期医療は現状の体制を維持



急性期



地域の状況に応じた医療連携体制・地域包括ケア提供体制

医師養成・派遣 高知医療再生機構（仮称）

# 福岡県地域医療再生計画実施事業について

## 全県事業

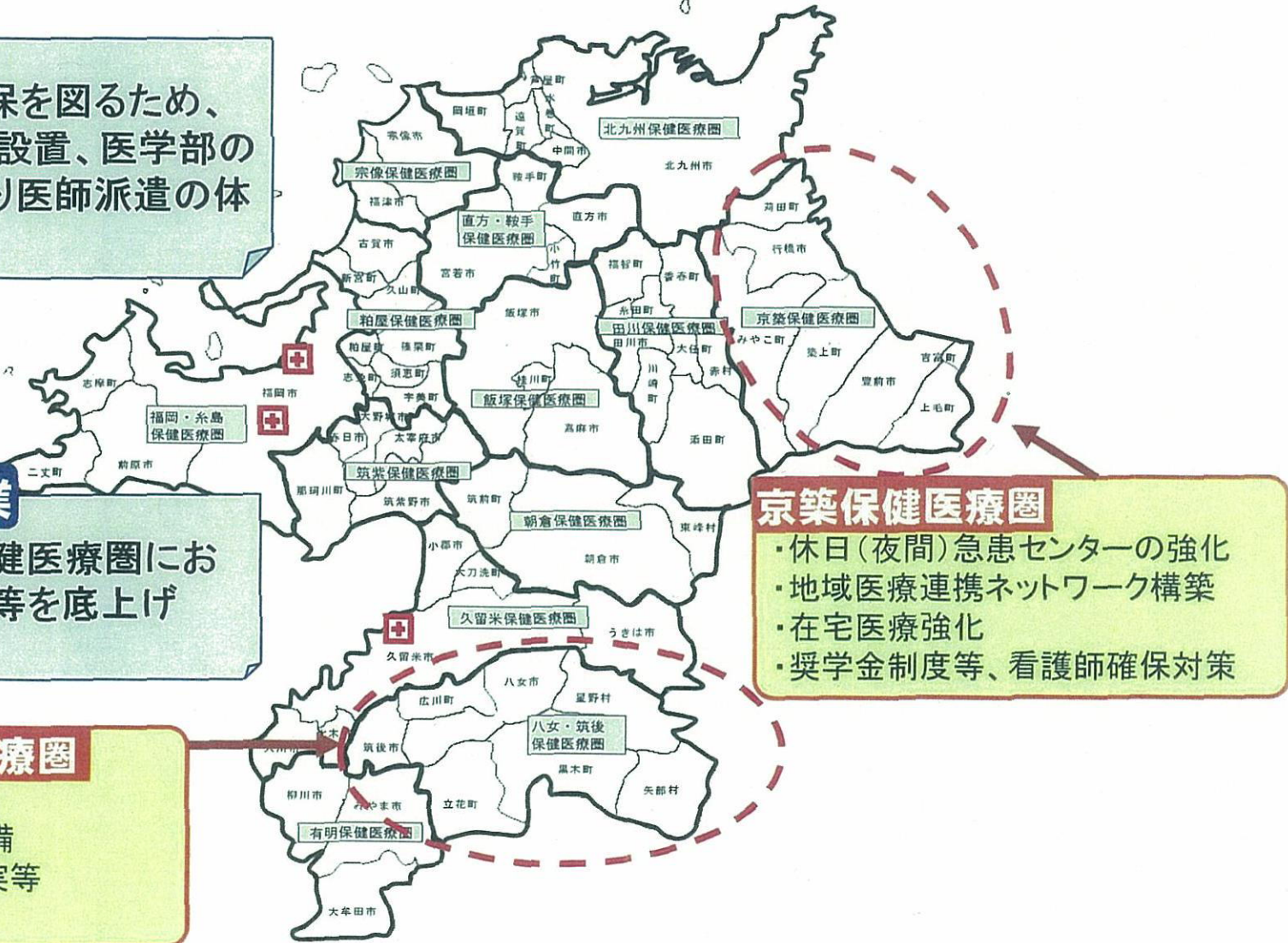
地域における医師確保を図るため、大学への寄附講座の設置、医学部の地域枠の設定等により医師派遣の体制を構築

## 二次保健医療圏事業

八女・筑後及び京築保健医療圏において、地域の医療体制等を底上げ

## 八女・筑後保健医療圏

- ・救急医療体制の整備
- ・周産期医療体制の整備
- ・へき地医療対策の充実等
- ・医療従事者確保対策



## 京築保健医療圏

- ・休日(夜間)急患センターの強化
- ・地域医療連携ネットワーク構築
- ・在宅医療強化
- ・奨学金制度等、看護師確保対策

